

1 学年 特別活動指導案

日時 平成18年10月27日(金)第3校時
生徒 雫石町立雫石中学校 1年 3組
(男子 16名、女子 19名、計35名)
場所 1年3組 教室
指導者 教諭 佐々木富貴子

1 題材名

喫煙が及ぼす健康への害

2 題材について

現代社会において、中学生の時期にも喫煙・飲酒・薬物乱用の危険性が増しており、緊急に対策を講じることが求められている。特に、「喫煙」「飲酒」に関しては、家族の中にも喫煙者や飲酒者がいる生徒も多く、身近な問題として捉える必要があると考える。しかも、「喫煙」は周りへの害(副流煙)も大きい。これらには「依存性」があり、乱用が習慣化されると心身の健康のみならず人格の形成にも重大な影響を与えるものである。

生涯にわたって健康でたくましく生きる生徒を育成するためには、喫煙・飲酒・薬物乱用によってもたらさせる健康への影響や様々な問題について、早い時期から理解させていくことが大切であると考えます。

3 生徒の実態

全体的に好奇心旺盛で、様々なことに疑問をもちそれを解決しようと前向きに取り組む生徒が多い。自分の意見をはっきり言える明るく元気な生徒と、人前で話すことが苦手な物静かな生徒の両方のタイプがいて、お互いがそれをうまくカバーし合っている雰囲気がある。

喫煙・飲酒・薬物乱用に関わって、昨年度、保健体育委員会が独自に行ったアンケート結果から、本校生徒の約10分の1が「薬物に興味をもっている」と答えている。また、生徒の家族の状況を調べると、90%の家族が飲酒をし、71%の家族が喫煙をしている。薬物に興味をもち喫煙者や飲酒者が身近にあることから、たばこや酒を勧められる可能性が多い環境であることがわかる。

4 指導計画

事前指導 (事前アンケート・短学活)

喫煙が及ぼす健康への害 (本時)

事後指導 (学級通信等で、何人かのお手紙を保護者へお知らせする)

5 本時について

(1) 本時の目標

喫煙の害の基礎的知識を理解する。

喫煙者への関わり方を考えさせる。

(2) 授業の構想

授業の前に、喫煙に関する簡単な調査を行い実態を把握する。

「喫煙による急性的な影響や慢性的な影響」「未成年者や周りの人などへの害」について、より専門的な知識をもっている、養護教諭による「解説ビデオ」をあらかじめ作成し、授業の中で活用したり、実際にタバコの煙から採取された有害物質のついたちり紙を見せるなど、視覚に訴える工夫をしたい。

最終的には、喫煙者に対して、手紙を書かせ、喫煙が及ぼす害について、力強く訴えさせることにより、健康な生活を保とうとする意欲を引き出したい。喫煙者だけの問題ではなく、みんなで考えていく問題であることを強調したい。

授業の最後に、喫煙に関する調査を行い目標に迫れたかどうかを確認する。

(3) 展開

過程	学習指導の内容	生徒の活動	指導・援助の留意点
導入 5分	1、喫煙に関する調査結果 2、「本時の目標」の確認	1、喫煙に関する調査結果の確認 2、学習内容の把握	・事前に行った調査結果を集計しておく (学習プリント Q1～Q4) ・学習プリントに記入させる
喫煙の害を理解し、喫煙者への関わり方を考えよう。			
展開 35分	3、喫煙の害について 基礎的知識の理解 <u>急性影響</u> ニコチン・タール・一酸化炭素 <u>慢性影響</u> 依存性・ガン・心臓病など <u>未成年者への害</u> <u>周りの人などへの害</u> 副流煙・妊婦など 4、タバコを吸う理由について 5、喫煙者への関わり方について	3、「喫煙の害」について理解する ちり紙(主流煙)が何を示しているか予想し、発表する 小学校の既習内容について、発表する ビデオ(養護教諭)を見て、基礎的知識の学習を深める 4、タバコを吸う理由を班ごとに話し合い、発表する むしゃくしゃして・・・(ストレス) かっこよく見えた・・・(興味本位) 先輩に誘われて・・・(人間関係) 実際に喫煙者のインタビューをビデオでみる 5、「喫煙者への手紙」を学習プリントに書き、発表する どんな気持ちで書いたのかも発表する 自分自身のためにも、周りのためにも禁煙を・・・ 本数を減らそう・・・ 外で吸って欲しい・・・ 喫煙者を減らすため、増やさないため、「手紙」以外にできることがないかを考える ストレス発散方法を考えてあげる(あめ・ガム・氷・ニコレットなど) 灰皿を置かない(環境づくり) 誘われたときの対処の仕方を考える	・タバコ1本分の主流煙をちり紙に吐き出したものを準備 ・小学校で学んできたことや、すでに知っていることなどを発表させる ・未成年者の喫煙が、法律で禁止されていることにも触れる (<u>健康を守るための法律</u>) ・悪いことだとわかっていながらも、吸い始めてしまう、そしてやめられなくなってしまう喫煙者の心情も理解させる(思いやりの心)でもダメなことを確認する ・授業で学習したことを具体的に使いながら「相手の心を揺さぶるような手紙」を書くように指導する ・どんな気持ちで書いたのかも発表させ、「思いやり」のある内容を取り上げる ・学習した知識を生かし、考え、行動する力につなげさせる ・すでに吸っている人だけではなく、これから吸う可能性のある人(自分自身も含め)を救うためにできることも考えさせる
終末 10分	6、本時のまとめ	6、本時の授業の「振り返り(終わりに)」と「感想」をプリントに記入し発表する	・「 <u>喫煙の害</u> 」は、 <u>喫煙者だけでなく、それを取り囲む周囲の人たちも含め、みんなで考えていく問題であることを指導</u>

6 評価

- (1) 喫煙の害について理解することができたか。
- (2) 喫煙者への関わり方を考えられたか。